

第4回 総社市病院施設整備補助事業審査委員会審議議事録（現地視察会）

日時：令和5年7月25日（火）15：10～17：10

場所：長野病院

出席：委員5名・事務局

1 あいさつ

2 現地視察

3 協議事項（視察後意見交換）

事務局：現地視察会を通じて、何か意見等があるか。

委員：災害時に適切に対応できるよう自家用発電設備の空調や照明への接続状況について、よく確認しておいた方がよいと思う。

災害対策室には、ポータブル電源などで電源を確保し、環境整備を進めていただいたら安心かと思う。

委員：病室のスプリンクラーなどきちっとできていた。全体の工事としては綺麗におさめていた。

委員：本日は、車椅子で視察をしたが、廊下や移動するところもかなり広く、車椅子が十分通れるようないい施設ができているという印象であった。いい設備、建物はできたので、総社市内に住んでおられる方の良い評判が口コミで広がると思った。健診もいろいろあり、総社市内で総合的に健診が受けられるということは、とても魅力あることだと思う。

委員：多目的室の災害拠点機能としての用途について、住民の避難所として使うのであれば、よく確認する必要があるのではないかと思う。

建物、器材等は素晴らしいものができているので、これからは、ソフト面をいかに充実させていくのが重要。

設備は充実しているので、表示の仕方や動線など、機能が発揮できるようソフト面の充実をこれから検討していただき、質を上げてほしい。

事務局：多目的室の指摘について、具体的にご教示願いたい。

委員：使い方次第だが、電源や避難経路などについて考えておいた方がよいと思う。

委員：一番いいと思ったのは、災害に対応するため、嵩上げをしているところだ。この病院であれば少々の洪水で浸かることは考えられないので、その点は、すごく良い点だと思う。

また、窓を大きくし、採光を天井の高さまでとっており、病室が明るいのはいい点だと思った。

夜間の出入口については、少し狭いかなと感じた。例えば車椅子等で来る患者が出入りするの難しいことも考えられるので、そうした場合は他の入口の活用を考えてもよいと思う。

他のところはスペースを広くとっており、すごくいい病院ができていると思った。

事務局：○今後の進め方について説明

閉会